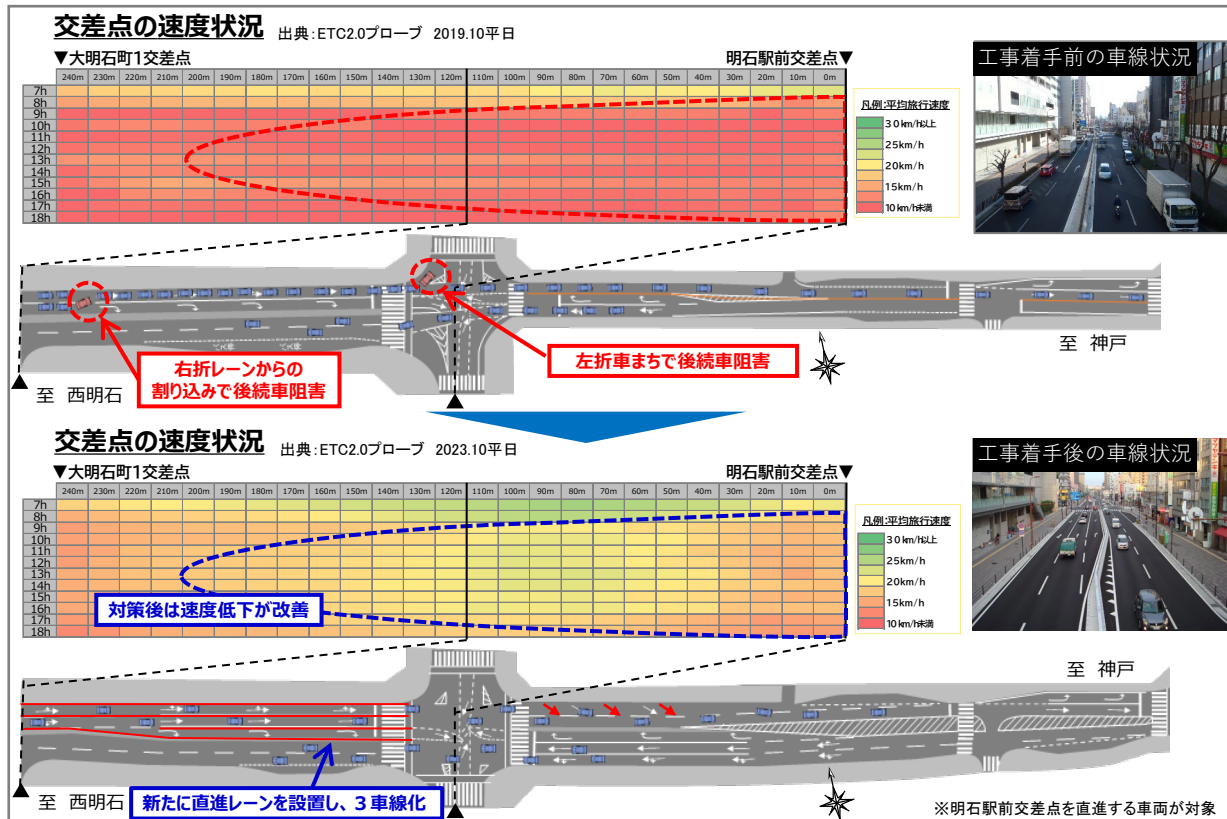


データ駆動型「渋滞」マネジメントの展開

「渋滞」は、朝夕の通勤、周辺開発に伴う交通集中、観光シーズンの交通集中など、地域毎に多様なケースが発生しています。ITSスポットで常時計測された「速度データ」は道路の区間毎の時期や月・日・時間帯別の等の速度変化を容易に可視化できます。これを用いることで、地域毎の渋滞発生メカニズムを解明でき、あわせて交通量データ等も取り込みながらピンポイントで渋滞要因への対策をソフト・ハード両面から講じています。

ピンポイント渋滞対策

② 明石駅前交差点



【関連ページ】近畿管内の渋滞対策協議会

主要渋滞箇所

主要渋滞箇所は、各府県に設置した渋滞協議会において、速度データの分析や道路利用者の意見等により選定されたものです。近畿地方整備局管内では、令和5年度に27箇所の主要渋滞箇所を解除し、303箇所で渋滞対策中です。

近畿管内の主要渋滞箇所 (R6.3末時点)



※1 H25.2に選定された箇所は、1,060箇所。

R6に新たに27箇所を主要渋滞箇所として追加

※2 対策済箇所は効果検証中